



掬泉だより 大泉高等学校

令和2年12月28日(月)発行 No.7

マラソン大会の開催

青く澄み切った青空の下、12月11日(金)にマラソン大会が開催されました。男子コースは6km、女子コースは4.2kmです。新型コロナウイルス感染症対策の観点から実施が危ぶまれましたが、感染症対策に十分配慮しながら実施することができました。出場した生徒達のタイムも素晴らしく、真剣に走る姿に感動しました。午後には表彰式があり、入賞者の表彰と先生方が用意したラッキー賞を生徒達に渡しました。

コロナ禍にあり、あたりまえに行ってきた学校行事が、多くの皆様に支えられて実施できたのだと、しみじみ感じました。生徒の皆さんには、これからも感謝の気持ちをもって日々の学校生活を過ごして欲しいと思います。



特色ある授業

12月17日(木)に新任の新井先生が、「数学のよさ」を感じてもらおうと「使える数学」の授業をしましたので紹介いたします。

食品科学科1年生が三角比を使って、校舎の高さを測定する授業をしました。これまでに、教科書では三角比を用いて建物や木の高さを求める学習をしてきましたが、今回は実際に角度測定器とメジャーを使って本校の校舎の高さを測定しようとするものです。生徒達はグループに分かれて測定しましたが、それぞれのグループで、何度か測って平均を取ったり、計算がしやすくなるような角度にして測ったり、と工夫していました。

最後には、100分の1の大きさになっている学校の設計図を用いて、答え合わせを行いました。結果としては実際の16mの誤差10cmまで近づけることができました。グループ間で情報を共有し、より深く学ぶことができ、「数学のよさ」を感じることでできるとてもよい機会となったと思います。

また、12月23日(水)に生物生産科2年生では、社会人講師による「しめ縄作り」が行われました。社会人講師の皆様の手ほどきで、縄をなうところから始め、ウラジロや橙、紙垂れを飾り付けて完成させました。新型コロナウイルスに負けない新年を迎えられるよう各自の家で飾ってもらいたいと思います。この授業の様子は、群馬テレビや上毛新聞で取りあげていただきました。



新型コロナウイルス対策

12月9日(水)から終業式までの期間、生徒による感染予防のための啓発活動を行いました。保健委員の生徒とJRC部員が、登校時に合わせて生徒玄関で手洗いやマスクの着用を呼び掛けました。さらに、昼休みには校内放送で、昼食時の注意点や朝の検温、教室の換気方法等について呼び掛けました。

この様な取り組みは、生徒にも好評で、慣れや過度な情報提供によって陳腐化されつつある注意喚起情報をあらためて意識させるのに有効だったと思います。コロナ禍で学校行事等が影響を受けるなかで、この様な生徒の活動は素晴らしいと思います。



コロナ禍の伝達表彰式

本校では例年、各種競技会等で受賞した生徒を始業式や終業式にあわせて全校生徒の前で、お披露目も兼ね表彰していました。

しかし、本年度はコロナ感染症対策もあり、始業式や終業式は全校放送で対応しています。そのために、伝達表彰の機会がないままになっていました。

そこで、感染症予防の観点から人数を調整しながら、12月23日(水)に会議室で実施しました。学校長より表彰状を受け取った生徒の表情は頼もしく映りました。